

富田林市観光ビジョン(素案)に対する パブリックコメントの実施結果について

1. パブリックコメントの実施状況

- (1) コメントの募集期間 令和2年1月6日(月)～31日(金)
- (2) コメントの提出件数 6件/2通 (提出方法: メール1通、はがき1通)
- (3) コメントを基に加筆・修正した箇所 0箇所

2. パブリックコメントの内容

No.	コメントの概要	件数	市の考え方
1	今後の富田林市のインバウンドに対する提案として、街の地図にクーポン券を掲載したり、ARやQRコードを読み取ると詳細な情報が見られたりするようなくみをつくってはどうか。	1	本ビジョンにおいて、外国人観光客の誘致は、重点的に取り組まなければならない施策のひとつであると位置づけています。そのため、多言語対応による情報発信は必須であると考えており、その方法や内容については、景観や媒体、ターゲットなどを総合的に考慮するとともにいただいたご意見につきましては、参考とさせていただきます。
2	市の観光窓口の一本化(トップ司令塔: 担当窓口)をすること。	1	本市では、商工観光課が担当課として各事業を実施しておりますが、本ビジョン策定にあたっては、多くの関係課にも意見照会しながら進めてまいりました。今後につきましては、関係各課がビジョンに沿った取り組みを進めてまいります。
3	観光の推進団体名(仮称)広く、策定(官民一体)推進母体で早期にスタートさせること。	1	観光振興は行政のみで展開するものではなく、様々な人が展開できるものであると考え、地域や事業者の方々が本市の観光振興に可能性を感じることで、より多くの方が参加していただけるような仕組みづくりを推進してまいります。

No.	コメントの概要	件数	市の考え方
4	富田林市・観光振興の実行委員会（官民：仮称）及び関係団体と協議の上、協働/推進すること。	1	観光振興は行政のみで展開するものではなく、様々な人が展開できるものであると考え、地域や事業者の方々が本市の観光振興に可能性を感じることで、より多くの方が参加していただけるような仕組みづくりを推進してまいります。
5	地域の関係者・特に大学(観光の専門家)連携協定の選定・締結をすること。	1	本市では、地域の大学と連携協定を締結しており、本ビジョン策定にあたっては大学の協力を得て、専門的な立場からご意見をいただきながら進めてまいりました。今後につきましても、引き続き連携し、事業展開を進めてまいります。
6	上記 NO. 2～5について、4月からスタートできるような体制を整えるべきである。その具体策の検討や準備を早期に進めてほしい。	1	本ビジョンは5年間の計画期間を定めており、毎年度計画的に事業を進めてまいりたいと考えております。そのため、ビジョンに記載している各事業に取り組むにあたって、より効果的に推進できるよう内容と時期を精査するとともに、計画全体の進捗管理をしっかりと行いながら進めてまいります。ご意見として参考とさせていただきます。